

平成20年第6回羽村市議会（定例会） 一般質問通告項目一覧表

発言順	議席番号	議員氏名	質問項目	質問日
1人目	17番	川崎明夫 (30分)	1 並木市長の来期の市政担当への決意を問う	12月4日
2人目	2番	大塚あかね (60分)	1 小中一貫教育校について(教育委員会の活性化を望む) (1)教育委員会の描く「羽村市教育ビジョン」について伺う ①羽村市の教育に関して計画的な「ビジョン」「改革」を描いているのか ②具体的内容の公表を求める (2)小中一貫教育校検討委員会の各部会の進捗状況について伺う (3)小中一貫教育校についての教職員、保護者、地域住民、市民の問題について ①武蔵野小学校、三中は勿論、市内小中学校の教職員の理解は深まったのか ②教職員の異動に対してはどのように対処していくのか ③保護者、地域住民の理解、認識はどの程度得られているのか ④学区外の市民に対しても説明は果たせているのか ⑤今後の説明会の予定について (4)特色ある学び(羽村三学)について伺う ①羽村三学により、どういう児童・生徒を育てたいのか伺う ②「親学」の必要性について伺う (5)小中一貫教育校について、教育委員に伺う ①教育委員会定例会における、小中一貫教育校に関する今までの検討、議論、今後の予定について伺う ②教育委員は検討委員会、各部会、説明会での役割と責任をどのように果たしてきたか。また、今後どのように果たしていくのか ③今後の小中一貫教育校の展望について委員の考えを伺う	12月4日
3人目	8番	石居尚郎 (60分)	1 羽村独自の市内商品券等で景気対策、生活対策の推進を (1)現在、臨時国会では、新経済対策が審議されており、生活支援という観点で実施される定額給付金が話題となっている。定額給付金は、物価高の中、スピード性と確実性が求められる。市民に最も身近な自治体である羽村市は、この制度を速やかに実施していくために、どのように取り組んでいくのか	12月4日

- (2) 本年の3月議会、9月議会と緊急経済対策を提案してきたが、さらに羽村市として新たな経済対策を考えているか
- (3) 消費者も消費を喚起し、商店も歓迎できる市独自の、市内商品券を実施してはどうか
- (4) すでに実施している稲城市商工会では、大型店舗用と大型店以外用の両方をセットとして販売している。地元の小規模小売店を保護する上で、羽村市でも同様の方式を採用してはどうか
- (5) 東京都中央区では10パーセントのプレミアムを付けて、区内共通買い物券を販売している。購買意欲が出る施策として、羽村市においても、10パーセントのプレミアムを付けた共通買い物券の導入を考えてはどうか
- (6) 実施するのであれば、即効性が大事である。定額給付金の受け渡しに間に合うように、本年度中の実施をすべきと考えるが
- (7) 企業や商店などの在庫商品を一堂に集め、販売していくイベントを企画・支援してはどうか
- (8) 11月初頭、並木市長は、中国上海を視察された。羽村の地域活性化を考えての視察と思われるが、その視察目的と、成果について質問する

2 新型インフルエンザ対策・感染症対策について

- (1) 市民が自らできる予防対策はある。その啓発となるよう、チラシを配布し、さらに「広報はむら」や「羽村市ホームページ」での広報活動を実施し、周知徹底すべきと考えるがどうか
- (2) 西多摩保健所では、現在「東京都西多摩保健医療圏・地域保健医療推進プラン（改定）原案」のパブリックコメントを実施している。その中で、感染症対策として、市町村に対して、新型インフルエンザ等の発生に備えた体制の整備を求めている。新型インフルエンザ対策として、国や都の法律に則った役割を前提として、西多摩保健所のなすべき課題、そして羽村市のなすべき課題と体制の整備をどのように考えているか
- (3) 本年の1月24日、隣接する所管区域の多摩立川保健所は、新型インフルエンザ大規模感染拡大を想定して、健康危機管理対策訓練を開催している。青梅市、福生市、羽村市、あきる野市、瑞穂町、日の出町、檜原村、奥多摩町の8自治体を所管区域とする西多摩保健所も感染防護服の脱着等の訓練を実施したと聞いている。各自治体との連携、体制の整備を推進し、意識啓発していくためにも、西多摩保健所に実効性のある感染症対策訓練の実施を提案してはどうか
- (4) 羽村市は、なによりも一番身近な自治体とし

での役割は、決して小さくはないと思う。羽村市独自の実効性のある行動計画を早急に策定すべきと考えるがどうか

3 羽村教育ビジョン策定について

- (1) 本年3月定例議会において、現場からの教育改革で、羽村教育ビジョンの策定を提案した。その際、「これからの羽村の学校教育の方向性を大きな視点から考える時期にあると認識している。『生涯学習基本計画』の中に学校教育を位置づけて検討する」との答弁であった。その、教育ビジョンは、いつから、どのように、どのような人員構成で検討していくのか
- (2) 生涯学習は、学校教育、または就学前の発達段階、キャリア教育、社会教育あるいは文化芸術、スポーツと、生まれてから生涯にわたる幅広い分野を成している。このことは、教育委員会のみならず、羽村市行政の各部門が連携して推進すべき施策であるとも言える。羽村市の希望あふれる未来を展望する上で、その礎となる教育のあり方、方向性を決定づける「羽村教育ビジョン」策定に向け、市のトップである、市長の考え、今後の取り組みと、その内容、決意を聞く

4 特別支援教育、発達障害支援の強化、充実を

- (1) 5歳児健診の実施を
- (2) 特別支援学級、通級学級、教育相談室、各学校等をインターネット等による情報ネットワークを構築し、支援者の情報共有と連携強化を図っていく考えはないか
- (3) 現在、特別支援教育支援員が配置されているが、全学校への完全配置と、さらなる人員支援をどのように推進していくのか
- (4) 東小、松林小、羽村一中における通級学級の施設は、個別にコミュニケーションを学ぶ機会の多い発達障害児に対して、個別教育に適した環境を提供できているか
- (5) 「青い鳥」のさらなる充実を
 - ① 児童・生徒に合った専門的訓練メニューの実施を
 - ② 午後の時間での参加人数が増えてきている。その対応はどうしているのか
 - ③ そのための一層の部屋の拡充を図るべきと考えるがいかがか
 - ④ 送り迎えの保護者負担の軽減を図るための措置を検討しては
- (6) 夏休みなど長期に学校が休みとなる時の、家庭支援体制が必要ではないか
- (7) 18歳以上の相談は、どこで、どのように実施されているか
- (8) 昨年12月議会で「発達障害者支援室」の設置を検討したが、その後、どのように検討されたか

1 平成 21 年度予算編成について

- (1) 厳しい日本経済の状況において、市財政への影響と、歳入の確保をどのように考えているか
- (2) 市の重要課題である羽村駅西口土地区画整理事業をはじめ、子育て支援などの福祉施策、市民の安心・安全、教育、環境など、歳入状況の厳しい中、各事業（歳出）をどのように予算編成していくのか
- (3) 歳入歳出のそれぞれを踏まえて、平成 21 年度の予算編成における基本的な方針についてどのように考え、市の重点施策として進めるものはどのようなになるのか
- (4) 国は景気回復対策を表明しているが、特に「給付金の交付」について市の対応はどのように考えているのか

2 平成 21 年度「羽村市高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画」について

- (1) 21 年度の介護保険事業計画策定にあたって、課題はどのようなものがあるのか
- (2) 政府は、新たな経済対策の一環として、介護従事者の待遇改善として介護報酬を 3%引き上げることや、それに伴う介護保険料の急激な上昇を抑制することを発表した。市はその効果や影響をどのように分析しているか
- (3) 平成 21 年度の介護保険事業計画について
 - ① 介護サービスは現行の計画に比べ、21 年度の計画ではどの程度増加が見込まれるのか
 - ② 施設サービスの利用希望は高いと思うがどのように考えているか
 - ③ 保険料の負担はどのように変化する見通しか
 - ④ 虐待や総合的支援など地域包括支援センターへの期待は高いと思うが次期計画で複数設置を行うのか
- (4) 高齢化の進行に伴って認知症高齢者の増加が見込まれるが、地域での支援体制のようなものは計画にどのように取り込もうと考えているのか
- (5) 介護保険施設が増える中で、「有料老人ホーム」や「高齢者円滑入居賃貸住宅」、「高齢者専用賃貸住宅」、「高齢者向け優良賃貸住宅」が国土交通省所管で進められている。いずれ市内にもこれらの住宅が建設されるのではないかと思うが、こうした中には介護の保障も不十分なものや質に問題のあるものが多いと聞く、市はこうした建物の建設に対してどのような考えを持っているか

3 駅周辺の自転車駐輪場対策について

- (1) 現在の自転車駐輪場の利用状況は（羽村駅・小作駅別、公有地・民間所有地別）
- (2) 放置自転車を減らす対策として、現在どのよ

5 人目

18 番

中原 雅之
(60 分)

- うな取り組みを行っているのか
- (3) 市職員による、自転車問題に関する検討会があると聞いているが、どのような検討がされているのか
 - (4) 今後、自転車対策について、総合的にどのような方針を立てるのか。また、その計画策定が必要と考えるがいかがか

1 米軍横田基地の再編強化に反対し、基地返還の運動を

- (1) 米軍横田基地への航空自衛隊航空総隊司令部移転のための工事について、市はどのように情報収集をしているか
- (2) 日米共同統合運用調整所が航空司令部棟に設置されることについての市長の見解は
- (3) 「横田基地の施設及び機能の縮小」に積極的に取り組むとともに、基地の全面返還にむけて、市民とともに取り組むべきと思うが市長の見解は

2 神明緑道の整備を

- (1) 不法投棄されたゴミを片づけ、植栽を工夫し、神明緑道に関連する羽村・村山線導水管や羽村山口軽便鉄道などの歴史、役割がわかる看板をかかげるなど、整備をすすめるべきと思うがどうか
- (2) 神明緑道に関連して羽村・村山線導水管や羽村山口軽便鉄道などについて、積極的に資料収集につとめ、記録を残す必要があると思うがどうか

12 月 4 日

6 人目

9 番

濱 中 俊 男
(45 分)

1 羽村市と隣接市町との行政界について

- (1) 問題点について
 - ① 他市町の住民で羽村市の上下水道を使用している件数は。また、その逆はあるか
 - ② 土地・建物で当市と他市町とにまたがっているものは、どのくらいあるか
- (2) 行政界の変更について
 - ① 行政界の変更の手続きは、どのように行うのか
 - ② 平成 5 年の小作台土地区画整理事業完成時点で、行政界の変更については、どのような協議をしたか
- (3) 今後について
 - ① 小作台地区について、青梅市と協議する考えはあるか
 - ② 将来、双葉町地区等において区画整理等の都市基盤整備が行われる場合、計画の初期段階から、行政界の問題を協議すべきと考えるが、いかがか

2 薬物乱用防止対策について

- (1) 現状について

12 月 4 日

7人目

4番

橋本弘山
(60分)

- ①羽村市の薬物乱用の状況は、警察よりどう聞いているか
- ②市はどのような活動をしているか
- ③市内小中学校において、19年度はどのような教育を行ったか。また、羽村高校の状況は把握しているか
- (2) 今後の対応策について
 - ①市民を守るため、広報等を使い、今まで以上にPRすべきと考えるがいかがか
 - ②教育委員会が主導し、計画的に小中学生に教育するようにすべきと考えるがいかがか

1 加美地区の道路状況について

- (1) 車の進入を出来るだけ抑えるために市で検討している施策は
- (2) 都市計画道路3・4・16号線の未整備区間の今後の見通しは
- (3) 奥多摩街道加美地区付近の整備計画の進捗状況については、どのように聞いているか
- (4) 間坂交差点付近の整備計画の進捗状況については、どのように聞いているか

2 自転車の交通事故対策について

- (1) 羽村市内における交通事故件数は
- (2) 羽村市内における年齢別の自転車による死傷者数は
- (3) 自転車による交通事故を防止するため、交通ルールの遵守、交通マナーを向上させる取り組みに、今後、市はどのように取り組んでいくのか
- (4) 「ちょこっと共済」事業の運営状況について
 - ①羽村市での一般市民の加入状況の推移は
 - ②羽村市での特別加入（公費負担）の状況の推移は
 - ③特別加入（公費負担）を実施している自治体は
 - ④羽村市での見舞金の支払状況の推移は
 - ⑤羽村市での自転車による交通事故の見舞金の支払状況の推移は
 - ⑥組合全体の決算内容の状況は、どのように聞いているか
- (5) これからの組合の方向性と問題点についてどのように考えているか

3 防災行政無線の今後のあり方について

- (1) 防災行政無線の維持、管理状況は
- (2) 防災行政無線に対する市民からの苦情等の内容は
- (3) 防災行政無線をどう改善していくのか、また、デジタル化についての方向性は
- (4) 新聞記事に「全国瞬時警報システム[J-ALERT]（ジェイアラート）」が記載されていたが、このシステムは、緊急地震速報の伝達も可能である。市では、このシステムについて、どの

12月5日

8 人目	16 番	市 川 英 子 (60 分)	<p>ような考えを持っているのか</p> <p>1 苦勞の多い子育てにもっともっと支援を</p> <p>(1) 妊産婦健診について (2) 国民健康保険について (3) 学童クラブについて (4) 福生病院に、新生児集中治療室を設置し周産期センターの開設をすべきと思うが市の考えを伺う</p> <p>2 中小零細業者・弱者への緊急生活支援の実施をすべき</p> <p>(1) 10 月から原油・原材料高緊急対策資金融資制度が始まった。本人負担の利率をもっと引き下げる等、見直すこと、また、農業振興資金融資の新設をすべきと思うが市の考えを伺う (2) 東京都は緊急対策Ⅱとして補正予算を組み第4回定例会に提案する予定である。羽村市としてこの予算を利用できる施策はあるか伺う (3) 羽村市として弱者への緊急生活支援の実施を (4) 市民はいろいろな条件をかかえながら毎日生活している。サラリーマン・主婦・高齢者等それぞれの生活実態に見合った具体的支援を考えるべきではないか</p> <p>3 市民の安心・安全に責任を持つために、私道にも街路照明施設設置を</p> <p>(1) 私道にも街路灯の設置をすべきと考える。市の考えを伺う</p> <p>4 今後、購入予定の川崎（三中隣）地域の土地の活用について</p> <p>(1) 市はこの土地の活用をどのように考えているのか伺う</p>	12 月 5 日
9 人目	3 番	西 川 美佐保 (60 分)	<p>1 安心して暮らせる「元気高齢社会」の実現を</p> <p>(1) 高齢者を「詐欺から守る対策」について</p> <p>① 高齢者から市消費者生活センターへのオレオレ詐欺の相談はどのような内容が多いか。またどう解決したか</p> <p>② 他地域で住宅用火災警報器を使った新たな詐欺事件が続けて発生している。普及と同時に、未然に悪徳業者から、市民、特に高齢者を守る対策が必要と考えるがどう対応するのか。また福生消防署との連携について伺う</p> <p>③ 住宅用火災警報器は5千円～1万数千円であること、音声で「火事」や「電池切れ」をアナウンスしてくれるものがあること、電池は10年位持つものを設置することなど、市民へのPRが大切と思うが、市の対応について伺う。また販売業者に対し高齢者には設置も含んだ対応をお願いすることが必要と考えるがいかがか</p> <p>(2) 「成年後見制度」の充実について</p>	12 月 5 日

①高齢社会に対応し、1人暮らしの方も相談できるよう体制の拡充とともに、広域的に支援する「成年後見支援センター」機能を有する施設の設置が必要と考えるがいかがか

(3) 高齢者を支える対策について

①一人暮らし高齢者の方がひきこもらず、ふれあいができることは大切と考えるので、定期的に一人暮らしの高齢者同士の食事会を開催してはどうか

②フレッシュランド西多摩は本年4月11日に入館者100万人を達成した。それを記念し毎年4月11日と9月11日に ①70歳以上の方のお風呂を「無料の日」とする ②その日にフレッシュランド西多摩を会場とする高齢者の「健康診断」や「転倒予防教室」等を構成市である3市1町で合同開催するよう関係機関に申し入れてはどうか

2 「地球温暖化対策地域推進計画」の具体的推進について

(1) 市全体のCO2排出量の削減目標を中長期的に掲げる必要があると考えるが、目標の基準や期間の設定、内容について等どのように考えているか方向性を伺う

(2) 環境省はエコ・アクション・ポイント事業を「家庭部門における温暖化対策の切り札」と位置付け、事業の立ち上げを全国で行っている。当市においても、市内企業との連携や具体的な市民の行動につなげるため、国や都と連携した取り組みをしてはどうか

(3) 市内の温暖化防止対策を推進するための基金「環境基金」を設置し、ごみを資源化して得られた代金の一部を基金に組み入れたり、市民に募金を募ってはどうか

(4) 「はむらん」は来年車両のリース満了を迎えるが、環境に配慮した車両を導入し、環境にやさしい「エコバス」として、温暖化防止の推進をアピールしてはどうか

(5) 昨年12月に質問した小中学校の環境学習について、その後の進展について伺う

(6) 市内小中学校の電気を全て省エネ型電球に取り替えるなど、それぞれの学校で電気代の節約に取り組み、昨年度の電気代等を基準に減らした場合、その半額を学校に還元し、更なる活動資金にしてはどうか

(7) 「環境家計簿」等を広報はむらに載せ、1年間取り組んだ家庭にエコバッグや有料ゴミ袋等をプレゼントしてはどうか

3 安心して出産できる、盤石な救急医療体制の構築を

(1) 市における、ここ5年間の出産数は

(2) 西多摩地域において発生した急患の妊婦の受け入れ病院は、どこに何件あるのか

(3) 西多摩地域内で発生した急患の妊産婦の受け

			<p>入れ拒否があった事例はあるのか</p> <p>(4)羽村市として、公立福生病院を含め、どのような連携態勢が必要と考えるか</p> <p>(5)羽村市として「安心して出産できる、盤石な救急医療体制の構築」が必要と考える。また東京都の救急医療体制を強く要請すべきと考えるがいかがか</p> <p>(6)福生病院での産科の医師不足を補うため「助産師外来」の設置を要請してはどうか</p> <p>(7)今年の6月議会で取り上げた14回の妊婦健診は、緊急経済対策に盛り込まれ、無料5回分の残り9回分について、国が補助する（半分は国庫補助、半分は地方財政措置）という内容になっており、不交付団体にも配慮するとのことであるが、その場合、市は14回無料になるのか。</p> <p>(8)どこにいても、「安心して産める体制」を作るため、里帰り出産や助産所での健診にも無料化をすべきではないか</p>	
10 人目	13 番	<p>船 木 良 教 (50 分)</p>	<p>1 地域活性化政策について</p> <p>①「コミュニティビジネス」は、地域ごとの最適状況（ローカル・オブティマム）を実現する実践事業的地域活動で、分権時代の地域づくりにおいて経済に視点をおいたとき、地域振興の旗手と考えるが、羽村市の考えはいかがか</p> <p>②羽村市内の羽村駅周辺・小作駅周辺・マミーショッピングセンターの「各商店街の特徴・機能」について、羽村市では地域づくり（街づくり）の観点からどのように捉えているか</p> <p>③各商店街への支援策はどうか</p> <p>④各商店街の活性化を地域全体の活性化へと発展させる「コミュニティビジネス」への取り組みはいかがか</p> <p>⑤産業、文化、賑わいの創出、雇用、インキュベーション（孵卵器）施設など、政策課題の解決をめざし、環境への取り組み・地産地消・地域通貨など経済・社会的機能を担い、共生・公益ニーズに対する実施セクターとして、地域社会を活性化することを目的とした、通称「屋台村」を核としたコミュニティビジネスは有効な取り組みと考えるがいかがか</p>	12 月 5 日
11 人目	1 番	<p>鈴 木 拓 也 (60 分)</p>	<p>1 安心できる介護保険制度にするために</p> <p>(1) 来年4月までの第3期における介護保険制度の問題点・課題はどこにあると考えているのか</p> <p>(2) 来年4月からの第4期における介護保険制度の改定はどのような内容・方向性になるのか</p>	12 月 5 日

- (3) 保険料は値上げをおこなわず、負担能力に応じたものに
 - ① 積み立てられている基金をとりくずし、保険料の負担軽減に役立てるべきではないか
 - ② 保険料の所得別段階をきめ細かくし、低所得者に配慮したものとすべきではないか
 - ③ 市独自の低所得者対策をより充実し、支払いつけられる保険料にするべきではないか
- (4) 低所得者の利用料減免制度を継続・拡大すべきと考えるがどうか
- (5) 必要な介護サービスが受けられない軽度認定者にたいして、生活援助サービス、外出介護サービス（いずれも渋谷区などで実施）などを市独自でおこなうべきではないか
- (6) 施策の充実のために、一般会計から介護保険会計への繰り入れについて調査・研究をおこなうべきではないか

2 豊かな保育を実現するために問う

- (1) 厚生労働省で検討がすすめられている、国と自治体による保育の実施と水準の確保・公費負担の責任をなくし、市場原理にもとづく保育へと制度改変をおこなうことについて、市長の見解を伺う
- (2) 年度途中で保育所へ入園した子どもに対する補助金額が、実際に子どもが入るクラスへの補助金額と食い違ってしまう問題を解消するため、対策をとる必要があるのではないか
- (3) 保育所の耐震工事を目的とした建て替えの際に、担保となる建物がなくなるため、資金計画がつかれないと聞く。つなぎ融資を市がおこなうべきではないか
- (4) 認証保育所に子どもを通わせる保護者の負担金額は、認可保育園の3倍近くになる。差額を補助する制度をつくるべきではないか
- (5) 発達障害をもつ子どもや様々な困難を抱える親へのサポートについて、各種機関との連携や役割分担について難しさがあると聞く。どのような問題意識をもち、どう対応を図っていこうと考えているのか

3 企業の派遣社員・期間従業員の削減、リストラにたいして、雇用を守る責任を果たさせる要請・申し入れを

- (1) 市内の主な企業における派遣社員・期間従業員などの雇い止め、正社員の解雇などの状況はどうなっていると認識しているか
- (2) それらに対して、雇用を守る立場で、企業への要請や申し入れなどおこなうべきと考えるが、どうか

1 来年度の財政見通しについて

- (1) 日本経済を取り巻く情勢が厳しさを増し、景気の減速が懸念されている。当市の企業の現

12 人目

14 番

露 木 諒 一
(60 分)

12 月 8 日

13 人目

7 番

馳 平 耕 三
(60 分)

- 況をどのように把握しているか
- (2) 市税収入の減収が懸念されるが、来年度の市税収入、とりわけ、市民税法人分についての見通しは
 - (3) 平成 12 年度から 14 年度まで市税収入の大幅な減収により、交付団体になり、平成 15 年度から本年度までは不交付団体に復帰した。景気の動向が懸念されるが引き続き「不交付団体」となる見通しはあるか
 - (4) 財政の弾力性を示す経常収支比率が平成 19 年度決算では、95.5%となっているが今後の見通しは

2 入札契約制度改革について

- (1) 原材料の高騰等景気悪化に歯止めがかからない状況であり、低価格入札、入札不調も急激に増大しているが、羽村市の状況は
- (2) 地域の社会貢献活動をしている事業者に対して、地域活性化の観点からも、入札契約制度の中で何らかの優遇措置を講じるべきと考えるがどうか
- (3) 国土交通省は業者に支払う工事代金を上乗せする「単品スライド条項」を 28 年ぶりに発動した。当市も適用すべきと考えるが、どうか

3 江戸街道公園の整備について

- (1) 江戸街道公園は羽村市で唯一の信号機や踏切のある自転車で走れる交通公園であるが、子どもたちが友達や親子で遊びながら交通ルールやマナーを学び、交通事故を減らしていくことを目的とした、施設の整備をしてはどうか
- (2) 日曜日等に「フィールドゴルフ」をしている地域の団体があるが、今後も除草等を行い快適に利用できるよう維持管理をしていくべきと考えるがどうか
- (3) 現在 2 箇所あるトイレのうち、水洗トイレは 1 箇所のみである。他のトイレも水洗化すべきと考えるがどうか

1 定額給付金について市長はどう考えるか

- (1) 市長は、定額給付金についてどう考えるか。また、実施方法を市に丸投げされたことに対してどう考えているか
- (2) 所得制限について、市はどう考えているか
- (3) 政府案に対して、具体的に市にはどのような問題が生じると考えているか

2 財政が厳しさを増す中、区画整理の規模を見直すべきではないか

- (1) 平成 21 年度の税収、また、今後数年間の税収の見通しは
- (2) 第四次羽村市長期総合計画の後期基本計画によれば、平成 19 年度から 23 年度の 5 年間で、人口 6 万人、歳入・歳出が 996 億円と予想し

12 月 8 日

14 人目

12 番

中 根 康 雄
(60 分)

- ているが、今の経済状況で可能か
- (3) 第四次羽村市長期総合計画の中には、新たな財源を調査・研究するとあるが、それは具体的には何を指すか。また、検討・調査は、もうはじまっているか
 - (4) 税収が厳しさを増す中で、歳出のどこを削減し、どう補う考えか
 - (5) 今回の経済危機は、深刻で根が深く、長期化することが予想される中、区画整理の規模等を見直す考えは無いか

3 行政への不当要求・行政対象暴力への対応強化を

- (1) 1 年間に、窓口で大声で騒ぐ、不当要求をしてくる、市役所や理事者・職員に脅迫状や脅迫電話が届いた件数は、何件ぐらいあるか。また、ここ数年、増えているという実感はあるか
- (2) (1)の件数の中で、警察に届けたものはいくつあるか
- (3) 今まで、こうした行政への不当要求や行政対象暴力に、どう対応してきたか
- (4) クレーム対応の研修は、どのように行われているか
- (5) 今後、ますます増えるであろう行政への不当要求や行政対象暴力に、今後、危機管理の一環として、対応を強化すべきだと考えるが市はどう考えるか

1 羽村市の教育問題について

- (1) 小中学校の学力向上のためにどのような施策をしているか
- (2) 理想の教師像とはどんなものと考えてるか。また指導力不足の教員とは何か
- (3) 2 学期制実施によるメリットと課題は何か
- (4) 何故学校間で授業日及び休暇日が異なるのか
- (5) 環境教育について具体的に何を取り入れ、どのように取り組んでいるか
- (6) 来年度 30 人以上の学級となる市内の学級数はどの程度と見込んでいるか
- (7) 自家用車通勤の教員は何人で、校地内の駐車場代はどうなっているか
- (8) 防犯ブザー貸与と管理の現状はどうか

2 西口区画整理について

- (1) 西口における「安全安心のまちづくり」とは何か。具体的施策の明示を求む
- (2) 事業費に関して
 - ① 予算超過する懸念は無いか。超過した場合の対応と責任の所在をどう考えるか
 - ② 計画予算内で上げるためにはどのような計画にしたら良いと考えるか
- (3) 補償に関して
 - ① 土地区画整理事業の施行に伴う損失補償基

12 月 8 日

			<p>準及び同細則等を公開できない合理的理由は何か</p> <p>②仮換地が定まっていないのに現居住者家屋の収去を急ぐのは何故か</p> <p>③移転協力者に対する仮住居・仮店舗の手当と、何時頃換地先に戻れるか確約できるか</p> <p>④収益補償と固定資産税等の取扱いは如何に。対象者に口答でなく、文書等で保証と安心を与えられないのか</p>	
15 人目	15 番	門 間 淑 子 (60 分)	<p>1 行政情報のシステム化に関わる課題について</p> <p>(1) 電子システムについて</p> <p>①稼動している電子システム数はいくつあるか。システムの運用に要する総費用はどれほどか</p> <p>②これらのシステムの契約方法はどのようなものか</p> <p>③契約締結の際、内容の妥当性はどのように検証されているか</p> <p>④システム導入の事前・事後評価はどのようになされているか</p> <p>(2) 人材育成について</p> <p>①専門知識をもつシステムエンジニアを職員として採用してはどうか</p> <p>(3) 個人情報保護とセキュリティ対策について</p> <p>①受託または指定期間終了後の個人情報の返還義務または廃棄義務についてどのように確認されているか</p> <p>②個人情報の大量漏洩が相次ぎ、宇治市では、1人 15000 円の損害賠償が市に課せられた。セキュリティ確保にむけての対策は進められているか</p> <p>2 学校図書館をより一層魅力あるものに</p> <p>(1) 司書の巡回により改善されたこと、残されている課題はどのようなことか</p> <p>(2) 15 年以上前に発行された書籍は、全校蔵書中に何%あるか</p> <p>(3) 魅力ある学校図書館を実現するには、蔵書の選定・買い替えが重要だが一定の指針が必要ではないか</p> <p>(4) 教科学習に役立つ資料の充実が必要だが、どのような方針をもっているか</p>	12 月 8 日
16 人目	5 番	山 崎 陽 一 (60 分)	<p>1 西口区画整理事業の不透明さを問う</p> <p>(1) 事業費 355 億円について</p> <p>①諸物価が値上がりしている。事業費への影響は試算しているか</p> <p>②区画整理特別会計以外に、事業関連に要した費用と今後の支出予定額は</p> <p>③区域内の上・下水道本管の布設経過年数別状況はどうなっているか</p>	12 月 8 日

- ④現状のまま付け替えるときの費用。区画整理での布設費用はいかほどか
- (2)モノレールと区画整理事業の整合性について
 - ①東京都は「多摩都市モノレールの箱根ヶ崎～八王子間は、運輸政策審議会答申に位置づけられていない」と答えている。未確定なものと、現実に進行している区画整理事業との整合性をどう考えているか
- (3)羽村駅西口商店街は区画整理で活性化が可能か
 - ①西口商店街がさびれているようだが原因は何と思うか
 - ②商店主が、将来設計が出来ないと嘆いている。区画整理地域の商店数と、区画整理後も営業を継続する予定かを把握しているか
 - ③区画整理による西口商店街、活性化具体策を聞きたい

2 平成 17 年度羽村市市政世論調査結果について

- (1)市の施策と市民の要望のくい違いが大きい
 - ①市政世論調査の目的は何か
 - ②回収率が 76.9%と極めて高い。にもかかわらず市政への関心度が 10 年前に比べて 13%も落ちている。市政の停滞感などが考えられるがいかがか
 - ③問 7 「市民の望む施策」の 1 位は「医療・保健衛生対策」38.9%、2 位「高齢者福祉」34.1%、3 位「防犯対策」30.1%である。この市民の要望に応じてどんな事業を実施したか
 - ④同じ問 7 「区画整理などによる市街地の整備」を望む市民は 7.6%で 14 位だ。極めて低い要望度の事業を最重点課題として 355 億円をつぎ込むことは、市民を裏切ることになると思うがいかがか